

# 社専だより

第65号 2020(令和2)年8月5日

編集・発行：上智社会福祉専門学校

〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 TEL 03(3238)3021

ホームページアドレス <http://www.sophia-sw.jp>



## ～第65号の主な内容～

- 〈1面〉社専の精神は続きます 他
- 〈2面〉社専保育士科 閉科
- 〈3面〉社専ソフィア会
- 〈4面〉教員リレーコラム  
学生への支援について 他

## 社専の精神は続きます

学校法人上智学院理事長  
上智社会福祉専門学校第11代校長  
佐久間 勤



この報道もありました。しかし世界がどれほど傷つき分断されようと、援助を必要とする人々のため、危険を承知で力の限り奉仕しておられる方々の存在こそが、この傷ついた世界を癒やしています。社専の卒業生の皆さんが

## 思い出す詰まった社専での日々

困難な状況の中でも「他者のために、他者と共に」(Men and Women for Others, with Others)の精神に生き、働いておられることに敬意を表したいと思います。社専ソフィア会が社専卒業生のこころの拠り所であり続

上智社会福祉専門学校前校長  
高山 貞美



and Women for others, with others” (他者のために他者と共に) “Sophia-Bringing the World Together” (叡智が世界をつなぐ) というキーワードを用いながら、上智の隣人性・国際性を力説しておられました。

上智学院の中で独自の歴史を刻み、社会福祉の養成校として歩み続けた社専も、幕が下りるまであと二年足らずとなりました。思い出のたくさん詰まった社専です。在校生・卒業生のみならず、そして教職員のみならずの事を思う時、本当に胸が熱くなります。お一人おひとりの人生において、社専で過ごされた日々が有意義で豊かなものであったことを確信しつつ、これからも多方面でご活躍されることを願わざるをえません。

最後の記念式典は、天皇・皇后両陛下ご臨席のもと、東京国際フォーラムで約四二〇〇人を擁して開催されました。主催者を代表して、上智学院の高祖敏明理事長(当時)が挨拶し、また滝澤正上智大学長(当時)がこれからの一〇〇年に向けて決意を述べました。お二人とも、Men

社専ソフィア会々員の皆様、本年三月末をもって上智大学を定年退職された高山貞美先生の後を継いで校長に就任致しました。どうかよろしくお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響は多方面に深刻な影響をもたらしています。罹患した方々にはお見舞い申し上げます。また会員の皆様とご関係の方々も社会福祉・介護・保育の現場で直接・間接に奮闘なさっておられること存じます。

ウイルス蔓延に本学も大きな影響を受けました。日々苦勞しながら勉学課程を終え、国家試験にもよい成績で合格し、喜びのうちに晴れて卒業式を迎えるはずだった卒業生の皆様はとても残念に思われたことでしょう。また、五〇数年の歴史を積み上げてきた保育士科の閉科を迎え、本学のため多大な貢献をいただいた先生方にとっても、せっかくの区切りの時を式典によって心に刻む機会が中止となり、心残りの思いをされたことと思います。さらには新入生も、入学式は中止になり、キャンパスが閉鎖され、授業はすべて遠隔授業となるという予想外の事態を迎えること

となりました。これまで経験したことのない授業運営のため、先生方にはおおいに工夫をしていただいています。インターネットを使っての授業を受けるため、学生の側も機材の整備などが必要になります。Wi-Fi、ルーターやノートPCの無償貸与や、「学修環境整備支援金」の支給によって、経済的理由で学修継続を断念するような学生が出ないように努めています。この支援金の実現のため、社専ソフィア会の皆様から寛大な援助をいただきました。ここに深く感謝申し上げます。

課題に直面したときにこそ人の本質が表れる、と言われます。それは社会についても同じではないでしょうか。今回のウイルス蔓延をきっかけに、以前の世界的危機の経験と違った特徴が表に出てきた、世界の国々の間には以前のような協力の気運よりもむしろ分裂が顕著になった、と

なつかしい思い出の中でも特に印象に残っているのは、二〇一三年十一月一日、上智大学創立一〇〇周年、上智大学短期大学部創立四〇周年と並んで、上智社会福祉専門学校創立五〇周年の記念ミサおよび記念式典が開催された時のことです。緊張しつつも、夢のように瞬かに過ぎ去った一日でした。

社専保育士科閉科

保育士科に思う

卒業生 須永 矢

私が社専の保育士科を知ったきっかけは、二〇一六年の秋頃でした。

その当時、私は大学卒業後から勤めていた会社から転職して母親が運営している保育園で働いていました。今後の事を考えると保育士資格が必須となるため、一から保育の事に関して学ぼうと新たに学校へ入学することを決意しました。

様々な学校がある中で、説明会の見出しを見つけた学校こそ社専でした。その説明会からあれよあれよと時が進み、二〇一七年度に社専の保育士科に入学しました。

社専での思い出と言えば、「沢山の人の出会い」この言葉に尽きると思います。社専には保育士科長の江藤久良良先生、卒業レポート指導や様々な相談に乗っていただいた渡邊眞理先生をはじめ、常勤・非常勤問わず現場で経験のある素晴らしい先生方が多くいらっしゃいました。素晴らしい先生方のお陰で、学ぶことの楽しさを思い出すことが出来ました。

また先生方の距離が近い為職場での保育に関する疑問等を気軽に聞くことが出来たこと

とや先生方の仕事関係者や働いている保育園や幼稚園を紹介していただき、様々な保育現場や働いている職員の考え方を直に触れることが出来ました。

こうした経験を得られたことは私の中でとても大きく、私の理想とする保育士像や将来の人生設計に対して多大な影響を与えました。

クラスメイトや先輩方も同様で、幅広い年齢層の中それぞれが様々な人生を送っており刺激を受ける日々を送ることができ、学生同士で様々な方との繋がりを持つことが出来ました。

私が学校へ行く目的の一つとして、人との繋がりを増やしていきたい、ということが挙げられます。先生方やクラスメイト、先輩方は勿論、皆様のお陰で素晴らしい方々との繋がりが作ることが出来ました。

こうした思いでこの原稿を綴ることが出来ていることに對して、私に関わっていただいた皆様には感謝の言葉しか出てきません。本当にありがとうございます。

お世話になった方々には直接お礼を伝えなかったのですが、現下のコロナ禍において二月に開催予定だった「つながろう! 私達の社専」保育士科最終講義「社専を語る」は延期となつてしまひ、感染

予防にあらゆる対策をしている最中、直接お礼を伝えることが難しい状況になつておりとても心苦しいです。

そんな私は二〇二〇年三月に社専保育士科最後の卒業生として卒業して、母親が園長を務めている保育園で保育士として働いています。

保育士以外に人事の仕事も行っており、採用面接を行う時もあります。面接に来る方の中には、子どもが大好きで働きたい保育士資格を取りたい!と四年前の私と同じ志を持っていらっしゃる方がいらっしゃいました。

その際、「社専という素晴らしい先生方と学生がいる学校があるよ!」と勧めることが出来ずに、社専の保育士科が無くなったことをふとした瞬間に感じてしまひとても悔しい思いをすることもありました。

保育士科が無くなりもうすぐ社専自体が無くなつてしまふことは、社専の歴代の先生方や同窓生の繋がりを未来に繋ぐことが出来ない、ということでありとても無念で仕方ありません。しかし、その繋がりが無くなるということではありません。これからも社専で生まれた繋がりを感ずる時が来ると思います。

現在、コロナ禍によつて以前のような生活を送ることは難しいですが、今まで私に関

わつていただいた方々に感謝の気持ちを持って、いつの日か笑つて再会し感謝の気持ちを伝えられるように、また社専の繋がりをこれから見つけられると信じて、保育士としての責務を全うしていきます。

この度、定年退職いたしました。

元専任教員 江藤久良良

みなさま、お元気にお過ごしでしょうか? このコロナ禍で、大変な状況におかれていらっしゃる方もいらっしゃると思います。案じております。

私は社専で、なんと四〇年近くも奉職させて頂いたいただき、この春に定年退職いたしました。長い年月ですが自分自身としては「あつ」という間でした。

楽しいこともあり、苦しいこともあり……、しかしながら、みなさまのおかげでなんとも愉快な日々でした。たくさんのお思い出を、本当にどうもありがとうございます。何か恩返しができないものかと、考えておりますが……。

それから、このコロナ禍で思ったことは「保育はもとより、様々な福祉のお仕事は人の命を支え、よき生活をするための基盤であること。生活や仕事の仕方が変わつてもなくなるならない仕事」ということ



めに、「他者とともに」の精神をベースに保育を学ぶ自分の夢の実現のためそれぞれの道を歩き始めました。社専での学び、社専の伝統に誇りを持ち、現場で活躍することを期待いたします。今後はまたどこかで現在、過去、未来について語り合うことができることを楽しみにしております。保育士科は今後も歩み続けることでしょう。

あせることなきSophiaへの思いと喜び

伊藤能之

私は上智社会福祉専門学校では、二年半お世話になりました。自由でありつつ誠実さを求めるSophiaへの思いを体感できたことは、最大の喜びであり貴重な体験でした。一つ残念な思いがあるとするならば、新型コロナウイルス感染により、卒業式等が中止となるなど退職に際し、あわただしい流れとなつたことです。

しかしながら、Sophiaへの思いを共有した誇りがあせることはありません。校長先生をはじめとする諸先生方、常に支えて下さつた事務センターのみなさまへ、学びへの思いを共有した学生諸君、そして、上智学院に深く感謝の気持ちをお伝えすることで退職のメッセージとさせて頂いた

感謝のうちに

渡邊眞理

非常勤を含め五年間、上智社会福祉専門学校保育士科にてお世話になりました。在職中は至らぬ点もあつたと思いますが教職員の皆様及び多くの皆様にご指導いただきましたこと感謝申し上げます。

保育士科は今年の三月末を持ちまして五〇余年にわたる保育人材の養成を終了し閉科となりました。最後の学生がこの三月に社専で「他者のた

だきたいと思ひます。ありがとうございます。



### 新しい時代を迎えて 会長 木下裕支

皆様には、日頃より上智社専ソフィア会に對しまして、ご支援ご協力を賜わり心から感謝を申し上げます。新型コロナウイルス感染症のパンデミックの発生により、社会福祉事業に携わる皆様も、さまざまな試練を迎えたことと思います。感染の拡大は、人と人とのつながりや共感、協働を基盤とする福祉の世界において、孤立や関係性の分断を生み、助けを必要としている人々を、さらに困難な状況に追い込んでいくのではないかと思います。

このような中であって、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」は、密接・密集・密閉という三密を避け、衛

# 社専ソフィア会

事務局 TEL&FAX : 03-3238-3027  
E-mail : syasensophiakai@honey.ocn.ne.jp

生管理にも十分に気を配らなければなりません。人と人がふれあう世代を越えた地域交流事業やコミュニティソーシャルワーク、保育や介護などの専門職による対面でのサービスの提供、次代を担う人材の育成、課題を抱えている人に寄り添いながら一緒に解決をめざす相談事業など、私たちは社会福祉を推進するうえで、新型コロナウイルスに對応した「新しい形」を模索していく必要があります。

また、日本における少子高齢化の進展は大きく、人口も二〇〇八年の約一億一千八百万人をピークに減少し続けており、二〇六〇年には総人口が九千万人を割り込み、高齢化率では六十五歳以上の割合が四十%近くになると予想されています。

一方、温室効果ガスの排出量の増加に伴う気候変動は、集中豪雨や洪水、気温の上昇をもたらし、私たちの生活を脅かしています。この新しい時代を迎えるにあたり、私たちはどのような未来を創造することができるのでしょうか。

さて、二〇二二年の三月をもちまして、上智社会福祉専門学校が閉校されるとの発表がありました。約六十年という長きにわたる歴史の中で、社会情勢をはじめ、福祉を取り巻く環境は目まぐるしく変

化してきましたが、その中にあって、上智社会福祉専門学校の果たしてきた役割はたいへん大きく、今もなお五千人を超える卒業生の皆様のご活躍されております。

今後、皆様とともに新しい時代に向けて、一人ひとりが個性を輝かせながら、上智社専ソフィア会において交流を深めていただくことができますよう、同窓会活動を続けたいと思いますので、なお一層のご支援ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

### クラス会等サポート事業 ご利用報告

第二十七期生  
社会福祉主事科 クラス会  
二〇一九年十一月三十日  
場所 四ツ谷

昨年の冬のことになりましたが、「クラス会等サポート事業」のお力添えを頂き、一九九〇年度入学の主事科同窓会を開催いたしました。

卒業して二十七年、クラスメイトは皆元気でいるのか連絡とれるのかと懸念しましたが、サポート事業に加え、SNSや違う科の仲間からの情報で連絡先が分かり繋がった時の喜びは大きなものでした。

欠席者も多かったのですが、頂いたお手紙や電話、メールでは夜勤や研修など福祉の現場は

### 2020年度総会開催予定のお知らせ

開催日 2020年11月21日(土)  
会場 上智大学10号館講堂  
内容 2020年度総会  
講演会

「つながろう！私達の社専  
～保育士科最終講義 社専を語る～」

今年度の講演会は、2月の予定が延期された「つながろう！私達の社専」の縮小開催を予定しています。詳細については、同封の「2020年度総会のお知らせ」をご覧ください。



幹事代表 石津有子

勿論、他方面で活躍する仲間の姿を知れて頼しく感じました。当日は数年ぶりから二十五年ぶりまで感激の再会となり、当時の先生方や学び舎の懐かしい話に花が咲いたり、今力を尽くしている職種の話を聞いて元気をもらったり、またそれぞれの繋がる仲間の話も聞くことが出来てとても楽しいひとときとなりました。

今回を切っ掛けに、また集うことができれば嬉しく思います。

### 伝言板

■五期生の皆様、五月に予定でした同期会開催は十一月七日に延期しました。後日ご案内通知をお送りします。皆様のご参加を願っています。

小川寿子(旧姓 龍)  
〇九〇四二四五五三三三  
〇七二二三三三三二二二

館橋喜代子(旧姓 建部)  
〇七二二三三三三二二二

### お知らせ

◎「クラス会等サポート事業」については、社専ソフィア会ホームページでご案内しています。アクセスやダウンロードが難しい場合は、社専ソフィア会事務局にご連絡いただければ資料をお送りします。

◎紙面掲載のイベントは、今後の新型コロナウイルス感染症拡大の状況等により、開催が延期、または中止される場合があります。

希望する方は、同封「会費納入のお知らせ」の裏面の説明文をご確認の上、お申し込みください。

### 新型コロナウイルス感染症 拡大に関連した緊急対応 ◆会員の皆様へ

新型コロナウイルス感染症の関連で、収入減少などの経済的影響を受けた会員の方は、お申し出により、二〇二〇年度会費(年額二千元)の支払いを免除します。

希望する方は、同封「会費納入のお知らせ」の裏面の説明文をご確認の上、お申し込みください。

### ◆在校生に対する緊急支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける在校生に對し、社専ソフィア会として以下の経済支援を実施することといたしました。

①緊急支援として社専ソフィア会の本年度予算から、金三十万円を社専に寄付することとしました。

寄付金は、在校生に支給される学習環境支援金の一部に充当されます。

②上智学院および社専からの「学生支援のお願い」に協力します。

ご協力いただける会員の方は、本紙四面または上智大学ホームページの該当項目をご参照の上、SOPHIA未来募金への寄付をお願いいたします。

教員リレーコラム<sup>⑫</sup>  
はなれていても心をひとつに

大石 恵子

介護福祉士科の専任教員となり、一年と数カ月が過ぎました。看護師として緩和ケアに携わっていたこともあり、非常勤で八年ほど、年に数コマだけ、看取り介護に関する科目を担当していましたが、医療現場にどっぷりだった私が専任教員として何とかやっておりますのは、同僚の教職員、そして学生の皆さんの支えのおかげです。この場をお借りし感謝申し上げます。

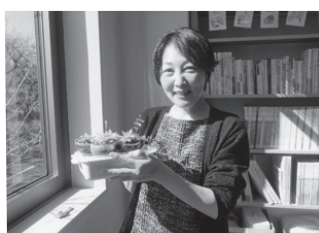
昨年度卒業した学生さん達との一年間のお付き合いでは、各科目のレポート課題や試験、施設実習と事例のまとめ、卒業レポート、そして国家試験など、一つ一つクリアしていく姿を見ては感動を覚えておりました。特に国家試験を終えたあとに教室をのぞいた時は、「国試終え達成感の笑顔咲く」と詠んでしまったほど、輝いて見えました。卒業された後は、嬉しい反面、何とも言えない寂しさを感じ、教員として毎年こんな思いをしているのかなあと思えました。



昨年の秋、感染予防の演習での1コマ。



聖歌隊シャロームの皆さんと一緒に参加したクリスマスミサ。



卒業生の置き土産の植物たち。今も私の部屋で元気にしています。

で、新年度から直接会えない状況が続いています。全面的にオンライン授業?!という急な変化で、学生さん達も私達も大変です。Zoomで画面越しに再会できた時は心底ホッと、顔が見えるって本当に大事ななだと思えました。

これから卒業まで、実習はどうなるのか、演習を伴う科目は後期になればできるのか、など心配なことはたくさんあります。学生の皆さんのご意見も伺いながら一緒に乗り越えていきたいです。

今の一年生は、この学年を最後に閉校となる本校を選んで入学して下さいました。キャンパスに通えないという特殊なスタートとなり、皆さん、不安や不便をたくさん感じておられることでしょう。早く、直接お目にかかりたいです。その日が来るまで、オンラインでも十分に学んでいただけるように、教職員も頑張っております。これからも試行錯誤もありませんが、どうぞよろしく願っています。

【ご支援のお願い】

新型コロナウイルス影響拡大に伴う学生支援について

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う影響は非常に大きく、世界規模で未曾有の難局が続いています。社会経済活動の制限が続く中、家計急変やアルバイトの収入源等、経済的に支援が必要な学生が数多くいます。

このような時こそ、本学院の教育精神である「Men and Women for Others, with Others」を体現し、All Sophiaで他者に思いを寄せながらともにこの困難を乗り越えるべく、本学学生の学業継続のための募金活動を下記のとおり開始いたしました。

経済的に支援が必要な学生のため、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

- ◎**使途名称** 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援」  
※SOPHIA 未来募金としてお受けします
- ◎**募金使途** 家計急変・生活費困難学生のための経済的支援  
オンライン授業のためのICT環境整備・モバイルWifiルーター・ノートパソコン貸出費用の一部補助 等
- ◎**募金金額および募集期間** 金額は特に定めず、期間も当面の間とします

※感染予防の観点から、オンラインによる決済方法をご利用ください。  
クレジットカード、インターネットバンキング(ペイジー)、Amazon Pay 利用可  
「SOPHIA 未来募金」のホームページ→ <http://sophia100.jp/index.html>  
ホームページの右上「寄付をする」というバナーをクリックすると入れます

【本件に関するお問合せ先】  
上智学院総務局ソフィア連携室 募金担当  
Mail : [sophia2013-co@sophia.ac.jp](mailto:sophia2013-co@sophia.ac.jp)  
FAX : 03-3238-3137

全学生対象の「学習環境整備  
支援金」給付について

コロナウイルスの感染症拡大に伴い、今年度前期の授業が全面的にオンライン授業へと移行したことは、一面の記事でもお知らせしている通りです。

これに伴い、学生が新たに支出する学習のための費用が発生しています。オンラインの通信料金や、プリンター、インク、紙代等、郵送でやりとりする際の切手代などが考

えられます。さらに、実習においては、飛沫防止のためのマスクや、自身で携帯する消毒液なども必要となります。

このような状況に対し、上智社会福祉専門学校独自の支援策として、全学生を対象とした一律二万円「学習環境整備支援金」を支給することとなりました。この支援金を創設するにあたっては、社専ソフィア会からの支援を頂いております。改めて感謝申し上げます。

2019年度 国家試験の結果 (本校新卒)

	受験者	合格者	合格率	全国平均
社会福祉士	17名	15名	88.2%	29.3%
介護福祉士	22名	21名	95.5%	69.9%
精神保健福祉士	65名	64名	98.5%	62.1%

○2020年1~2月に行われた国家試験において、全ての試験で全国平均を上回る合格率となりました。